【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-88643(P2000-88643A)
【公開日】平成12年3月31日(2000.3.31)
【出願番号】特願平10-261872
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０１Ｊ　1/44
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｊ　1/44　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成17年9月15日(2005.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
　【請求項１】　入力光を電気信号に変換するセンサ手段と、
　上記センサ手段から出力される上記電気信号を積分する積分手段と、
　上記電気信号をそのまま出力する第１のモードと、上記積分手段により積分された信号を出力する第２のモードとを選択的に行わせる制御手段を設けたことを特徴とする測光センサ装置。
　【請求項２】　上記第１、第２のモードに応じて上記センサ手段のバイアス電圧を変更する変更手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の測光センサ装置。
　【請求項３】　上記第１、第２のモードで測光出力を同じにするための補正手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の測光センサ装置。
　【請求項４】　上記積分手段の積分時間によらず測光出力を同じにするための補正手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の測光センサ装置。
　【請求項５】　複数の上記センサ手段を設けると共に各センサ手段に対してそれぞれ上記積分手段を設けたことを特徴とする請求項１記載の測光センサ装置。
　【請求項６】　入力光を電気信号に変換するセンサ工程と、
　上記センサ工程から出力される上記電気信号を積分する積分工程と、
　上記電気信号をそのまま出力する第１のモードと、上記積分工程により積分された信号を出力する第２のモードとを選択的に行わせる制御工程とを設けたことを特徴とする測光センサ装置の制御方法。
　【請求項７】　入力光を電気信号に変換するセンサ工程と、
　上記センサ工程から出力される上記電気信号を積分する積分工程と、
　上記電気信号をそのまま出力する第１のモードと、上記積分工程により積分された信号を出力する第２のモードとを選択的に行わせる制御工程とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。